

子宮頸がんについての講演会実施後アンケート集計結果

■ おもと会沖縄看護専門学校（担当：様）

日程：平成21年8月23日（月）15:00～16:30

場所：県立看護大学 中講義室

対象：1学年（108名）

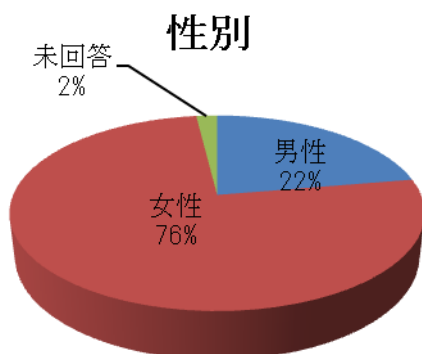
演者：長井 裕先生（琉球大学医学部附属病院）

演題：「子宮頸がんについて」

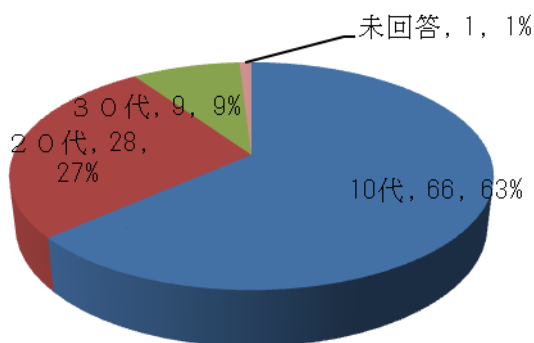
アンケート回収率：名100（92%）

講演前

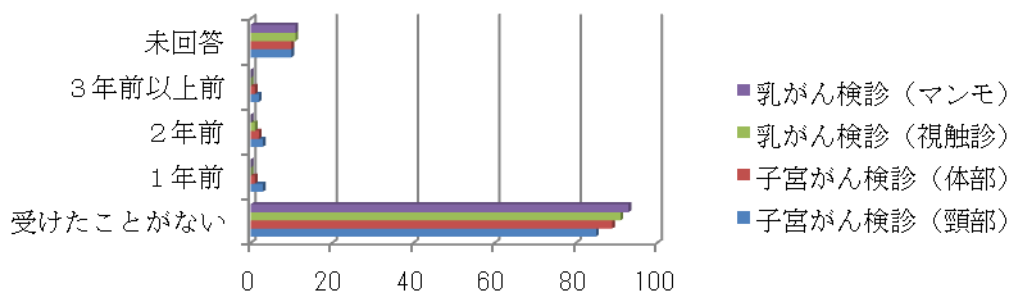
性別



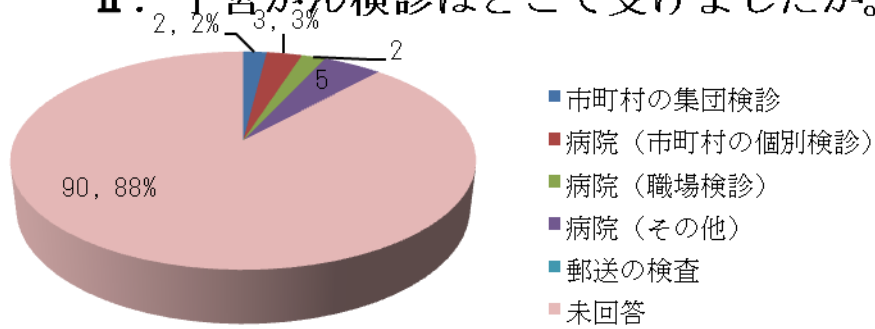
年齢



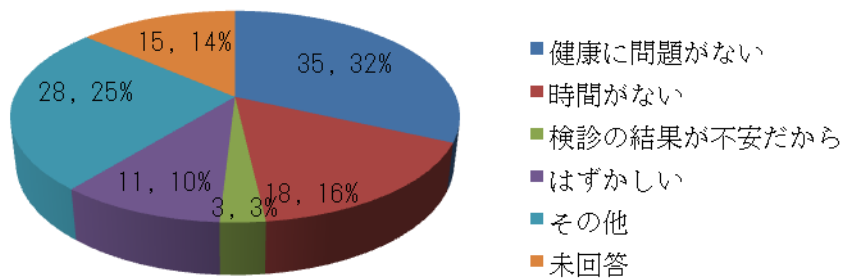
I. がん検診を受けたことがあるか。



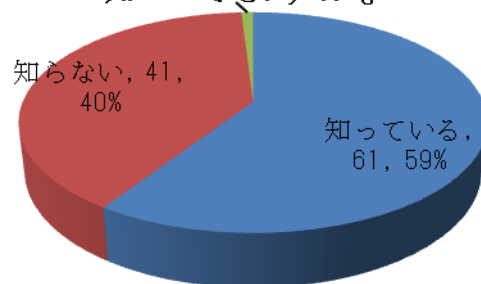
Ⅱ. 子宮がん検診はどこで受けましたか。



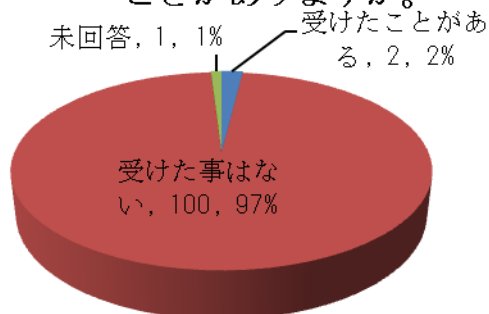
Ⅲ. がん検診を受けない理由は何ですか。



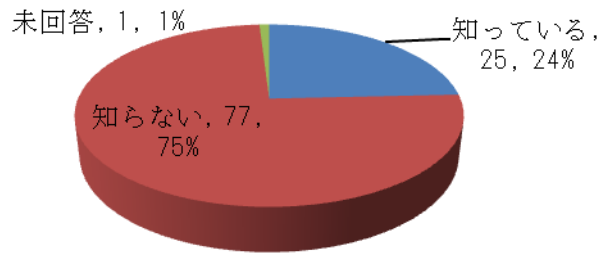
Ⅳ. ヒトパピローマウイルス（HPV）を知っていますか。



Ⅴ. ヒトパピローマウイルス（HPV）検診を受けたことがありますか。

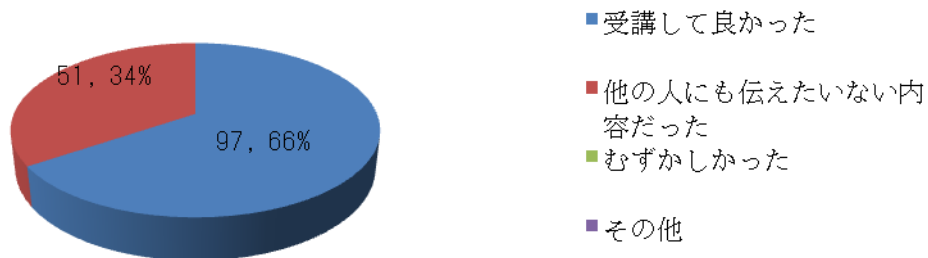


VI. ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン を知っていますか。

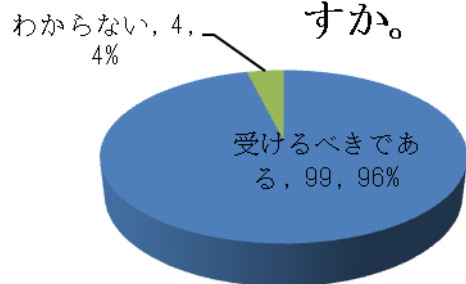


講演後

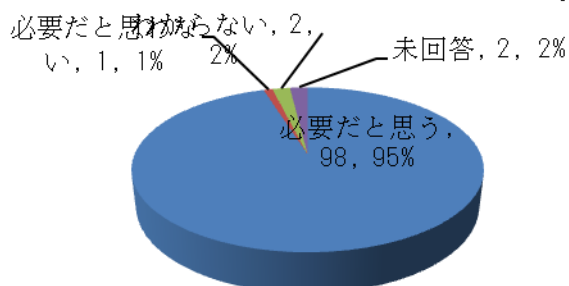
I. 本日の講演・シンポジウムの感想



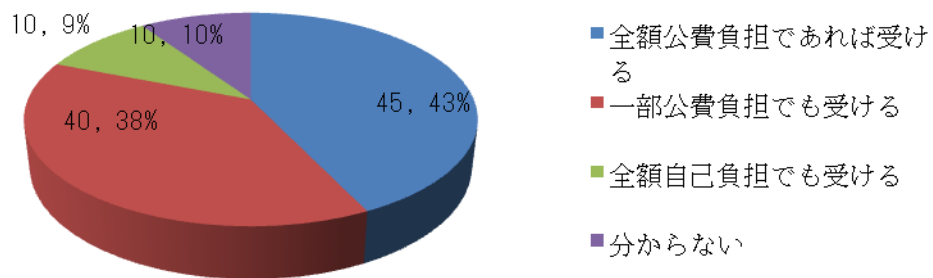
II. 子宮がん検診を受けるべきだと思いますか。



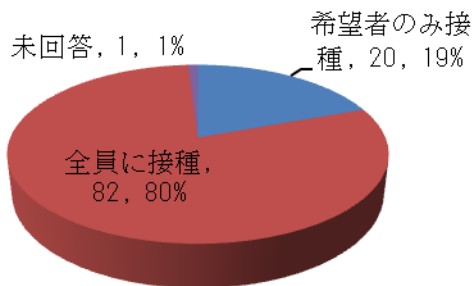
III. ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの接種 は必要だと思いますか。



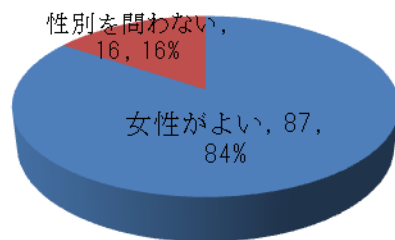
Ⅳ. ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種を受けたい（受けさせたい）と思いますか。



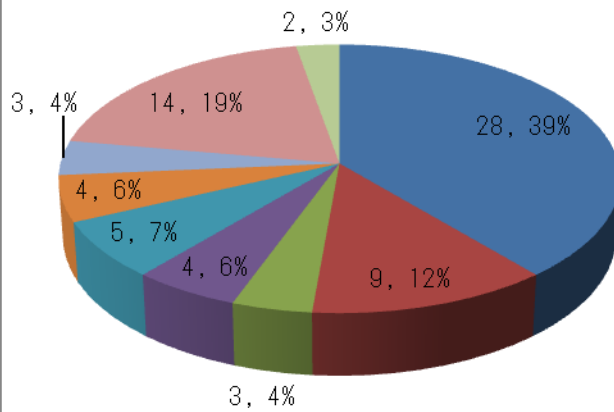
Ⅴ. 中学生・高校生に対するヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種についてどのように考えますか。



Ⅵ. 検診を担当する医師は、女性がよいですか。



Ⅶ. 子宮がん検診の受診者を増やすために、市町村等にやってもらいたいこと又はあなた自身ができることがあればご意見をお聞かせ下さい。



- 金額が高すぎる。検診料を無料か一部負担にする
- 宣伝（ポスターやテレビCM、ラジオ）などを工夫して、もっとたくさん広めたい
- 学校単位で集団受診できると増えると思う
- 学校や職場、市町村でもっと講演する
- 検診通知をだす
- 小中高生にもこの講演会をやった方が良い
- とてもためになった
- 友達や周りの人に広め（勧める）ように思う
- 聞いた話を多くの人に知ってもらいたい

・その他

住民票地以外でも受けられるようにしてほしい

もっと呼びかけが必要

検診対応期間をもっと増やしてほしい

女性の医師を増やす、女性のいる病院を紹介する

中高生への教育を文部科学へお願いする。予防接種を義務づける

検診場所をもっと増やしたり、受診可能医療機関を案内やどこか掲載してほしい

日本の政治がもっと医療に力を入れてほしい

行政によって医療に対する関心が変わるのは止めてほしい。国でワクチン接種や検診を義務化してほしい